

三重県介護支援専門員協会
新型コロナウイルス感染症に係る困り事 緊急調査

調査期間: 令和4年3月7日～3月14日

支部名	困ったこと	気づいたこと
紀南支部	関係性の希薄化から様々なところで利用者との関係が上手くいかない。	
桑員支部	職員が次々に濃厚接触者となり、就業制限になっていること	
松阪支部	ショートステイ先がコロナ感染がおり、身動きがとれなくなった。同法人の有料老人ホームでコロナが発生。感染者が入院できず、職員が感染し、軽症であるが、10日間の休みになり勤務が組めない状態となる。	病棟稼働率を抑える為には致し方ないが、施設やショート先でのコロナ感染者は入院させてもらい、拡大を防いで欲しい。コロナ感染者の10日間自宅待機は、現在のオミクロンに関しては短くしてもらうなど対応を検討してほしい
三四支部	コロナによる閉鎖事業所が相次ぐ。	訪問入浴や半日デイの入浴特化の強み。宅食のありがたさ。複数デイ利用の必要性。
三四支部	<p>①A デイサービスでコロナ陽性が出たが、自分の担当している利用者様はその日に利用していたが、保健所の判断で濃厚接触者にならなかった(同じ送迎車ではない、席が離れていた)為、自分や事務所に連絡がなかった。翌日その利用者様は B デイサービス利用予定で送迎されたが別事業所のケアマネから A 事業所の出来事をキャッチされて中に入れず自分に連絡されて、事業所の判断基準で利用自粛要請されてサ高住へ返された。その2日後その利用者様は発熱し、コロナ陽性判明して救急搬送され、持病の糖尿病があり、現在陰性になってはいるが、痰の吸引必要で約1ヶ月入院中である。</p> <p>②デイサービスで濃厚接触者になると、翌日から1週間自宅待機を言い渡される。独居の場合、ヘルパーも入ってもらえない、認知症の方に急に馴染みのないヘルパーの訪問は難しい、火の元危険な為にガスを止めて入浴不可にしてある、等急な対応が困難だった。自宅待機終了後もデイサービスは開所されないため、自費で送迎付き入浴特化のデイを利用していた。認定が要支援なので他の事業所利用は不可であり、訪問入浴にするには1回だけでは頼みにくかった。結局3回自費でお願いした。</p> <p>③持病のためにワクチン接種をしていない別居家族が、濃厚接触者になって独居認知症の利用者(デイ利用6日/週)を介護してあげられなくなることを恐れ、現在陰性の間に仕事をしつつ在宅介護を試みられている。しかし、認知症が進行する恐れある。</p> <p>④コロナ感染大の地方から家族が帰省した場合、週3回訪問介護に入っていたが、家族が帰京してから2週間入ってもらえず、(今年は1週間)(買い物だけはOK)老夫婦としては、息子の訪問は嬉しいが、後の生活が大変なので、日程調整をされた。</p>	<p>①たとえ濃厚接触者に判定されなくても、担当ケアマネには事実を連絡いただきたかった。管理者からA デイサービスへ言っていたが。</p> <p>②1週間入浴無し。その後、別居家族の風呂場が不適で連れて行けず、3回自費で対応(週2回入浴)。もし、家の風呂場が使えたとしても、陰性判明するまではヘルパーさんにも入ってもらえない。特例で利用者に負担の少なくなる方法(市の援助金など)があると清潔保持出来るのにとおもいます。</p> <p>③続かなくなったら、訪問介護も利用出来ると情報提供だけはしているが、見通しの付かないコロナの行方に不安がいっぱいになる。</p> <p>④コロナ禍は皆が我慢を強いられているが、高齢者のみの家庭には打撃が大きい。</p>

三泗支部	家族が感染したため濃厚接触者となり、出勤ができない職員が増えている。	濃厚接触者の定義に全て当てはまるにも関わらず、保健所は濃厚接触者と認定しない。
鈴亀支部	職員が発熱し PCR 検査した場合、他の職員め出勤が出来なくなってしまうことに不便さを感じました。サービス事業所からコロナ感染症発生した場合、詳細の連絡が遅かったこと。	コロナ感染症発生が発生した場合、対応等の連絡が早い所と遅い所と、事業所によって違いがでたような気がします。
三泗支部	サービス事業所が休みになった時の対応	事業所の正確な情報が大切
鈴亀支部	家族内クラスターにより、介護サービスが一切入れない期間が1か月程続いた。1日1食の食事の確保が精一杯だった。コロナ陽性の方が、認知症によりマスクも出来ず介護事業所の提供が困難。濃厚接触者の接触者の方の通所継続が難しかった。抗原検査でマイナスを確認というものの、抗原検査キットが手に入らず、個人事業所で購入したものを無償提供した。	コロナ感染の利用者がいる場合、通所→訪問に。と言われてはいるものの、訪問のヘルパーはそもそも人員不足であり、提供困難であることを実感した。代替えの介護サービスのイメージ(ヘルパーやショートは不可能。だからと言って入院も難しい)は出来ない。(訪問看護1日1回は確保出来る)抗原検査キットは個人事業の場合自費になり、1月2月だけでも10万円近く出費があった。
三泗支部	デイサービスの利用が出来なくなりました。	自宅での介護を本人のためによくないと家族が思っている
三泗支部	自施設内で感染陽性者が発症した、建屋が別で自分の所属する居宅事務所には感染は影響ないはずであるが、モニタリング、訪問に躊躇し、「感染をひろげてしまうかも」という懸念があった。結果、手短に訪問を済ませた。「利用者側の都合で」訪問をやめにする事は認められている、とあったが、「こちら側(居宅支援側)の都合で」訪問をやめにする事は減算の対象となるため、それは出来ず…。感染拡大防止の観点から見ると、矛盾を感じる。	保健所の定義する「濃厚接触者」の範囲がかなり限定されており、大したことない、という認識でいると、結果的には感染している、ということがあった。老人福祉施設では感染者や濃厚接触者が出ると、対策や、利用者減で減益になることは必至で、世間の目にもさらされ「with コロナ」という概念は通用しない。世間とのギャップにどの施設さんも困っているのではないかと思った。
三泗支部	認知症の高齢者はコロナワクチン接種券が届いても気に留めず、申し込みもできないため、ケアマネが病院に行って手続きをしている。	コロナ渦で外出機会が減少しており機能低下が顕著にみられる。生きる気力さえ失っている利用者様もおりにネガティブな言動も多く聞かれる。生活の中で少しでも楽しみや笑う機会があればと思うが、ケアマネとして何もできず無力さを感じる。

南勢志摩支部	<p>利用しているショートステイの併設のデイサービスの利用者に陽性者が出たためショートステイの利用が出来なくなった。既に利用をしている2ヶ所のデイサービスに急遽利用を依頼したところ1ヶ所は「PCR検査」をしてほしいとの事。1ヶ所は「一週間利用を控えてほしい」との事。PCR検査についてはかかりつけ医などで鼻から行う検査の場合、症状がなければ15000円かかると言われたため、無料で行っているPCR検査を受けに行ったが唾液採取によるものため認知症の高齢者ではとてもではないがこなせるものではなかった。結局デイサービスの利用もかなわず家族が自宅で面倒をみた。たまたま家族が出来る利用者であったからよかったものの、もう少し検査方法についても緩和されないものかと感じた。</p>	<p>濃厚接触者でもない利用者のサービス利用を1週間控えてほしいという事に関しては残念の一言。サービス事業所が自分の事業所から陽性者を出したくない気持ちは理解できるがもう少し柔軟に対応してもらいたかった。</p>
三四支部	<p>独居の方(介護3)デイ利用時、濃厚接触者になられた。毎日、訪問介護を利用しているが、その事業所から、陰性の結果が出るまで支援はできない言われ、すぐに別の事業所を探す事は難しと判断し私とデイの管理者で防護服を着用し支援を代行した。</p>	<p>あらかじめ、濃厚接触者の支援に入れる訪問介護事業所を探しておくべきだった。入れる事業所も入れて2か所対応しておくべきだった。現在、入れる所がどれだけあるか聞き取り中。</p>
三四支部	<p>デイサービスで感染者が出て、1時休業となり、担当の利用者様で当該デイを利用している人ごとに、利用無しで良いか、一定期間のみ別の別のデイ(あるいは別のサービス)利用の調整が必要となった事。</p>	<p>以前は、「一時的な利用だけの人にとっては…」と言うデイもあったが、現在は持ちつ持たれつの傾向がある様で、比較的受け入れていただける感じがしている。</p>
三四支部	<p>利用者様の事業所職員がコロナ感染になった。</p>	<p>サービス利用が不可となった場合、本人様、家族様への不利益が直結することを改めて感じた。</p>
鈴亀支部	<p>ショートステイ利用中、施設内でコロナ陽性者が出て、ショートステイ利用者も含め周囲の人がPCR検査対象者となり、結果が判明するまで施設から出ることが出来ず、予定外にショートステイが長引く場合があります そこで問題になるのが、その間に1ヶ月の区分限度額を超えてしまう場合や連続30日を超えて31日目まで保険が効かない場合が出ます それに対して救済の制度が無く利用者負担となってしまう。</p>	
鈴亀支部	<p>・2か所の通所サービスを利用されており、1か所でコロナ陽性者が出たので閉鎖。本人は濃厚接触者ではないにも関わらず、もう一か所の通所サービスからも利用を断られた ・閉鎖となった通所サービスから各利用者への対応の連絡が遅く、CMに問い合わせる利用者・家族が多かった。CMが仲介役として調整したケースもある</p>	<p>・事業所は保健所との対応等に忙しく、各利用者にも目を向けてアナウンスするのはなかなか難しいこと。しかし利用者・家族としては、状況を早く知りたいという気持ちが強いので、担当している方については事業所との仲介役になり、現状と対応を随時アナウンスしていく必要がある。</p>

三泗支部	デイサービスでコロナ陽性者が出て営業中止になった際、すぐに代替のサービスが段取りができない時、どうしたらいいのかと対応に困りました。	コロナ感染により自分自身が動けなくなることを想定して、事業所同氏の横の繋がりは確かに必要だと思いますが、コロナ予防の為にzoomでの会議が増えたり、地域の研修が中止になることが多く、繋がりにくいのが現状です。
三泗支部	本人ではなく家族が濃厚接触者になっただけでも、サービスの利用ができなくなった。検査で陰性がわからないと利用ができないので、困った。	
三泗支部	独居利用者、声枯れ症状熱発ありデイ確認そのまま帰宅、歳相応の認知症あり。ケアマネも含め支援ストップ対応とし家族に連絡受診を伝える。家族が訪問時熱は微熱、デイからも受診を勧めるが翌日になっても受診せず。本人家族が熱は下がり問題ないと思いき受診しない気持ちと判断、事業所からは待機期間は支援中止を伝え家族同意となるが、家族は食事を運ぶくらいで生活面の支援は担えず、待機期間のみで経過と判断し対応。	本人の症状改善後は特に悪化の症状はなかったのが良かったが本人・家族と支援者の温度差があり、発症時の様子は限りなく陽性と思われる。地域窓口に相談したがそんなケースはないとの返答であった。ケアマネは電話での安否確認しかできず、もし連絡が途絶えた際、家族が動けなかった場合はどうするのか疑問に思った。家族も感染している可能性もあるが家族にもその認識なく仕事に行っている、それが現状なのかと思った。
松阪支部	・有料ホームやサ高住の入居者に面会できないため、本人の状態確認や意向の確認がとりにくい。 ・退院調整の際に、本人に十分なアセスメントや意向の聞き取りができず、退院前に病院での担当者会議・カンファレンスが出来ない為、退院日に合わせて自宅で担当者会議を開くなど対応している為、事業所側の事前準備がしにくいし、退院日に合わせて予定を合わせるのが大変です。	・認定調査業務の委託を受けているのですが、保険者からは本人面会の調査実施を求められているが、調査先でマスクをしてくれなかったり感染対策が不十分なまま認定調査を行うことがある。また、調査先の病院等の意向で調査ができなかったり、抗原検査を都度求められたりすることあり。区分変更などは調査も急ぐために先送りにもしにくく、認定調査員さんの不安や負担を感じました。
三泗支部	利用していた事業所でコロナウイルス陽性者が発生し、利用者のサービスが止まってしまい、代替サービスが見つからなかった。急にサービスが止まるため、家族側も対応に苦慮した。	
三泗支部	利用者本人(要支援者)がコロナ陽性となり、その息子さん(要介護認定)が濃厚接触者。息子さんは、透析しています。本人は入院にならず、息子のいる自宅へ帰る。病院に行けば透析はしてもらえますが、透析病院に連れて行く手段が無い。保健所も濃厚接触者に対しての移送はできないとのことで、ケアマネに(既に夜 20 時過ぎ)介護タクシーなど探してとの返答。受けてくれる介護タクシーはなく、最終的に片道一万円で受けてもらえるところがありますが、お金もない。陽性になれば何とかなるが…週3回の送迎、課題です。	その場その場で何とかやり過ごして、なんでも現場任せの行政。